

わたしもひとこと



佐藤真奈美氏

これからの与論  
を支えていく一  
人として!

平成26年6月から保健センターに勤めさせていたでいます。佐藤真奈美と申します。与論高等学校を卒業してから、8年の歳月が経ちました。私のふるさと与論島は、美しい自然にあふれ、島を包み込むような青い空

プロフィール  
○氏名 佐藤真奈美  
○住所 与論町麦屋  
○職業 保健センター勤務  
ミス与論

と白い砂浜、そしてエメラルドグリーンに輝く海に浮かんだ美しい島です。時の流れとともに、街並みは少しずつ変化しています。が、変わらず豊かで美しい自然にあふれています。島民の皆様の誠の心、農業・漁業・観光業など、与論島の発展のために力を注ぐ島の皆さんの姿は、これから後も生まれ育った与論で働いていくという私の決意をより一層強くします。

勤めました。地域の循環器基幹施設として、三次救急に対応しているという病院の方針に強く感銘を受け、循環器内科病棟で3年間看護を学びました。その中で目にした光景は、若い人から高齢の方まで、病氣と闘う人々の姿でした。医療の現場は「日進月歩」ではあるけれど、最新の医療を駆使しても、助からない命もあります。

島を出たあの当時思い描いていた夢、「看護師や保健師の資格・免許を取得し、いつか島の人たちのために働き、育ててくれた与論に恩返しをすること」は、今も変わりません。こうしてふるさと与論の地で働かせていただいていることに、大変感謝しています。

保健センターの職員一同

私が従事している保健師の活動においては、マニュアルやガイドラインにない役割を期待されることが多々あります。現場では、いつ未知の課題や社会の脅威に立ち向かうことになるか分かりません。そのため、どんな環境や時代がきても、「保健師活動の原点である住民目線」を忘れずに励んでいきたいと思っています。

最近、親戚や知人を案内して百合ヶ浜に何度か渡ったが、行くたびに観光客がいっぱいで驚かされた。商工観光課によると5月末現在で、去年を既に2千人以上上回っているとのことである。

編集後記

増えた要因としては、近年マスコミへの露出度が増えたことやこれまで行ってきたファン感謝祭での宣伝効果、プレミアム付き商品券の発行などが挙げられるが、何といても来島した観光客が島の様子や出来事をラインやフェイスブック等のSNSで、直ちに流してくれる口コミ効果が大きく影響しているのではなからうか。